

令和5～6年度 下関市まちづくり協議会 活動事例集



下関市

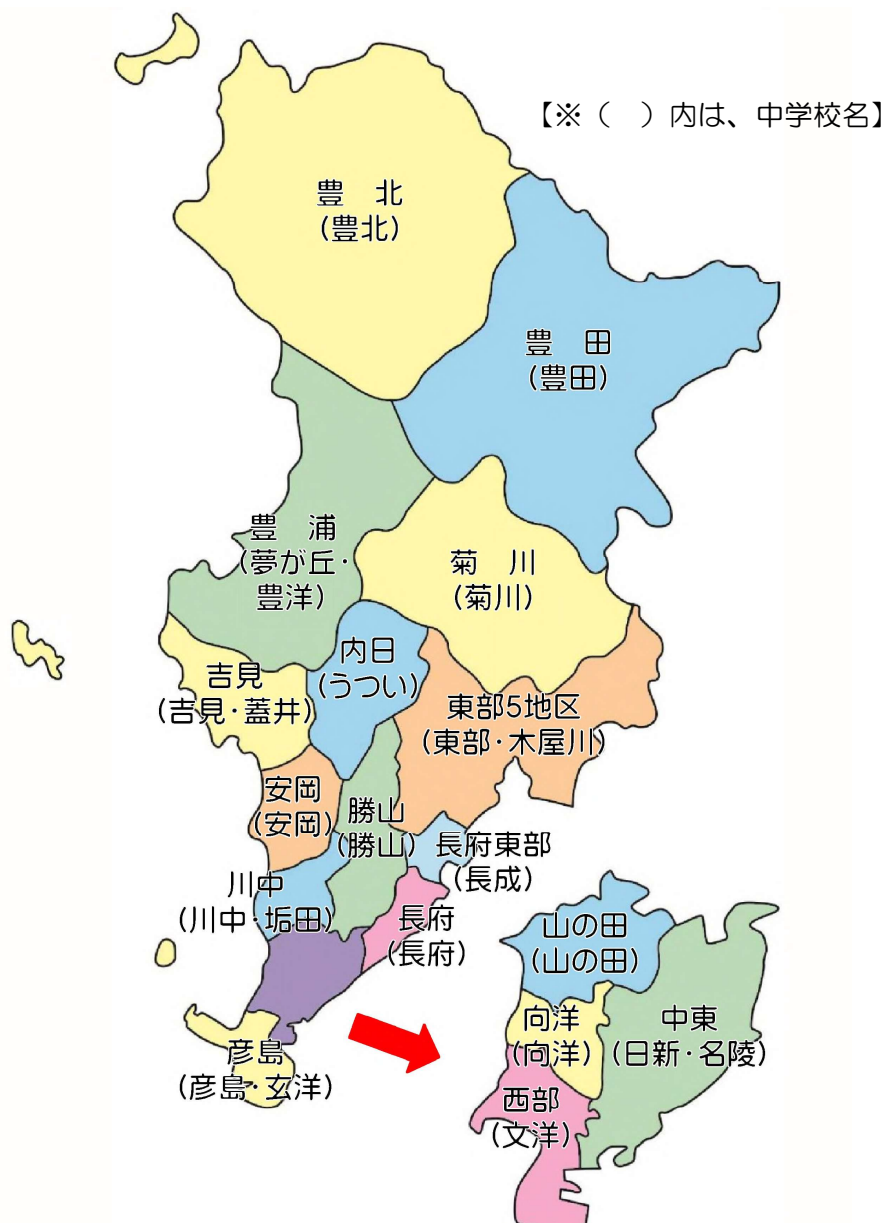
はじめに

下関市では、平成26年9月に制定された「下関市住民自治によるまちづくりの推進に関する条例」に基づき、市内全17地区でまちづくり協議会が設立され、それぞれの地区で、住民が主体となった特色あるまちづくりの取組が展開されています。

この事例集では、令和5～6年度に、市内17地区まちづくり協議会で実施された活動の一部を紹介しています。

地域活動のあり方が見直される中、現状を見据え、未来につながる取組を模索する各地区まちづくり協議会の活動事例集を、今後のまちづくりの活動や継続のためにお役立ていただければ幸いです。

【下関市まちづくり協議会】



目次

協議会名をクリックすると各ページへ移動します。

【1】中東地区まちづくり協議会P1

- 01 親子タウンウォッチング
- 02 クルージング事業
～わたしたちのまち 海からの大冒険 君は発見できるか？～

【2】西部地区まちづくり協議会P3

- 01 しもまちスタンプラリー2024
「歩いて、登って健脚勝負！西部地区を知ろう！！」
- 02 地域スポーツ交流事業「第2回グラウンドゴルフ大会」

【3】向洋地区まちづくり協議会P5

- 01 防災体験
- 02 「最近の特殊詐欺の傾向と対応」
- 03 地域で安心して生活するには

【4】山の田地区まちづくり協議会P7

- 01 「いきいきサロン山の田」「カラオケクラブ」（高齢者サロンプロジェクト部会）
- 02 資源ごみ回収事業（地球温暖化対策プロジェクト部会）

【5】彦島地区まちづくり協議会P9

- 01 地域活性化事業 若者交流会「彦まちアイランド大作戦」
- 02 彦島の歴史研究事業 海上からの彦島視察
- 03 地域交流事業 スマホ無料相談教室

【6】長府地区まちづくり協議会P11

- 01 高校生マルシェ in 中浜市場
- 02 ひなまつり絵さげ飾り（観光活性化部会）

目次

【7】長府東部地区まちづくり協議会P13

- 01 認知症フェア
- 02 合唱活動・演奏

【8】東部5地区まちづくり協議会P15

- 01 健康づくり 体操を交えた講話会
- 02 防災教室
- 03 ピアノと歌で奏でるリズム体操

【9】勝山地区まちづくり協議会P17

- 01 「勝山地区自主防災訓練・避難所運営体験」
- 02 より～ねしんしも！クリスマスコンサート

【10】内日地区まちづくり協議会P19

- 01 内日地区全住民アンケート実施
- 02 地域行事の実施「どんど焼き」
- 03 令和6年度まちづくり研修会

【11】川中地区まちづくり協議会P22

- 01 飲食店スタンプラリー
- 02 共催事業 第4回「Candle Night 2025 in 下関市立考古博物館」
- 03 共催事業「七夕ふれあい祭り」

【12】安岡地区まちづくり協議会P25

- 01 親子ウナギ釣り大会(友田川環境保全活動)

目次

【13】 豊浦地区まちづくり協議会P26

- 01 豊浦地区まちおこしプロジェクト プラザで〇〇
- 02 健康寿命を延ばすまちづくり卓球教室
- 03 川棚温泉駅・小串駅周辺の美化活動

【14】 吉見地区まちづくり協議会P29

- 01 竜王山登山道整備/第1回竜王山登山会
- 02 第9回毘沙ノ鼻ウォーキング

【15】 菊川地区まちづくり協議会P31

- 01 体験！！災害避難 in きくがわ
- 02 菊川ふれあい節分まつり

【16】 豊田地区まちづくり協議会P33

- 01 たまねぎの収穫体験
- 02 まち中花いっぱいフォトコンテスト

【17】 豊北地区まちづくり協議会P35

- 01 ほうほく語り場(カタリバ)
- 02 浜出ウォーク

01 親子タウンウォッチング

経緯

市外から転入した方々が乳幼児を抱え、何処に行けば楽しめるか？案内者が一緒になって、街を案内していただけないか？とこども未来部から要請を受けました。

そういった希望に応えるために、地域に詳しいまちづくり協議会関係者が集まり、親子連れに地域のお宝場所を案内して、下関の良さと笑顔を提供したいと思い実施しました。

活動内容

【開催日】

令和6年11月6日 午前10時～

【開催場所】

下関市役所に集合し、近隣の唐戸地区を散策

【参加人数】

8組の親子(16名)、まち協(6名)を2班に分け、誘導

【活動内容】

○事故防止に務めながら、約1時間半 街中ウォッチング実施

○唐戸商店街、教法寺、中之町郵便局ポスト、旧下関英国領事館、旧秋田商会ビル、金子みずぶ碑など、歴史と文化を案内



唐戸を案内中

成果

この活動を行うまで、市外から転入した方がこんなに多くいるとは知りませんでした。

参加者からは「とても勉強になりました。また機会があれば、ぜひ参加したい。」との声をいただき、下関市に1日でも早く馴染んで、友人を沢山増やすためにも、中東地区まちづくり協議会が出来ることは何でもしたいと思いました。



下関の良さを提供！

02 クルージング事業 ～わたしたちのまち 海からの大冒険 君は発見できるか？～

経緯

子育て・青少年育成部会主催。普段住んでいる街並みや景色を、海から見る機会はなかなかありません。

地域の子供たちが親子で関門海峡から、今住んでいる自分たちのまちを見て、更には陸に上がり、街並みを散策する機会を与えることによって、下関の魅力を改めてもらいました。

【設置部会】・総務部会 ・環境・防災対策部会 ・健康・福祉部会
・子育て・青少年育成部会 ・地域づくり部会

【活動の概要】・広報誌の発行 ・ホームページの管理
・防災活動の周知 ・サロンの開催 ・子育て活性化行事 他



関門海峡からの風景

活動内容

【開催日】

《第一回》令和5年11月25日

《第二回》令和6年9月7日

【開催場所】

唐戸栈橋集合（午前10時）

【参加人数】

《第一回》2歳～70歳代 計30名参加

《第二回》親子 計33名参加

【活動内容】

○貸切船で海上を散策し、下関の良さを感じて貰いたく、11時半乗船、60分間海峡を散策

○海峡を横切り、関門橋をくぐり抜け巖流島をぐるりと一周

○住んでいる街並みを散策し意見交換

【中東地区まちづくり協議会の理念】

構成員相互の交流と親睦を図る
人と人とのつながりを大切にする
地域の力が発揮できるまちづくり



成果

短時間のクルージングでしたが、普段探索が出来ない貴重なひとときでした。下関の素晴らしさを再発見するきっかけとなれば嬉しいです。令和7年度も実施予定です。



クルージング事業

乗船場
(唐戸栈橋)

旧秋田商会
ビル



親子タウンウォッチング



集合写真

唐戸栈橋

01

しもまちスタンプラリー2024 「歩いて、登って健脚勝負！ 西部地区を知ろう！！」

経緯

西部地区の歴史や地域の特性などを紹介するための活動として、スタンプラリーを開催しました。今回のポイントには眺望良好な絶景や、人物の由来を知ることができる高台を設定しています。

活動内容

桜山近隣
公園

【開催日】

令和6年9月1日～令和6年11月30日

【開催場所】

西部地区内

【参加人数】

109名

【活動内容】

絶景ポイント4箇所を訪問し、ポイントをゲットすると地区達成となり、達成者にオリジナル賞品を抽選で30名に進呈しました。



下関短期大学付
属高等学校
生徒作



【西部地区まち協】

「清潔」・「安全」・「高齢者に優しい」まちづくり



国司浩助像



鈴ヶ森稲荷神社



展望広場(笹山町)

成果

地域の魅力を再発見できたと、参加された方からの感想を受けています。また、楽しく健康づくりができる取り組みとして成果が上がっていると評価しています。

地域交流としては、下関短期大学附属高等学校の生徒にイラストを作成していただき、抽選会にも参加していただきました。

次回も西部地区の魅力を発信できるように計画していきたいと思います。



下関短期大学附属高等学校での抽選会

【設置部会】 ・まちづくり応援部会 ・福祉部会
・教育・生涯学習部会 ・安全安心部会

【活動の概要】 ・西部にぎわい支援事業 ・広報誌の発行
・オレンジカフェつづみの運営 ・「子育て支援」活動
・防災対策講習会 他



02

地域スポーツ交流事業 「第2回グラウンドゴルフ大会」

経緯

地域住民との交流活動の一環として令和5年度より開催しております。今回は、西部地区内にある、下関短期大学付属高等学校から生徒5名にボランティアとして参加していただきました。

活動内容

【開催日】
令和6年11月17日

【開催場所】
桜山小学校運動場

【参加人数】
40名

【活動内容】
グラウンド内に8コース設定し、各グループに別れて競技を実施しました。競技の結果として、第1位～第3位とホールインワン賞、全員に参加賞を配布しました。



コースラウンド中のスコアチェック



入賞者に賞品授与

point

活動事業を効率的に進めるためには、組織の編成・交付金の使途緩和など、活動内容や規模に応じて活動エリアを決めて実施することが必要です。

また、部会の体制づくりや既存事業の活用、PR、人材育成などが必要であると思います。

成果

地域で活動されている団体など多くの方の協力をいただき、無事に大会を終えることができました。今回は、西部地区内にある下関短期大学付属高等学校の生徒5名に、ボランティアとしてコース設定や、会場設営などの運営補助に協力していただき、競技にも参加されました。

今後も地域内の交流活動を進めて行くことが活動する上で重要なポイントになると考えています。



集合写真

グラウンド
ゴルフ大会
開会式



01 防災体験

経緯

地震・豪雨災害などのニュース報道を見た時に、自分たちに何が出来るのだろうと思い、防災士資格を持っている代議員さんを中心に「防災体験」を企画して取り組むことにしました。

活動内容

【開催日】
令和6年6月1日

【開催場所】
向山小学校体育館

【参加人数】
61名

【活動内容】
○いつどの様な時間帯・場所で起きるかわからない災害に遭った時に出来る対応策

○身の回りにある物を活用した、チームワークでの共助等、実施体験

《 体験内容 》
 ・新聞紙スリッパ
 ・簡易担架
 ・大声コンテスト



簡易担架体験



防災体験

成果

自分たちでこしらえた、新聞紙スリッパを履いての体験ゲームなどを行うことで、災害を身近に感じることができました。

また、後日行われた3年生の授業である、防災を考える時間の際には、防災体験に参加していた生徒が体験したことを、他の生徒たちに教えていました。

02 悪質勧誘等対策教室 「最近の特殊詐欺の傾向と対応」

経緯

テレビ・新聞紙上などで、詐欺多発と言う文字をみる度に、自分には関係ないと思っている人々に今一度、「詐欺」に対する予防について考えてもらうために実施しました。

活動内容

【開催日】
令和5年7月22日

【開催場所】
下関市民センター

【参加人数】
35名

【活動内容】
○あの手この手の特殊詐欺から身を守るために!

○詐欺の被害者は高齢者だけではありません!

○子どもが巻き込まれないように、手口を知ろう!
 (他に、詐欺対応寸劇に警察署から8名の方が来られました。)

【設置部会】・総務部会・福祉部会・生活環境部会・健全育成部会

【活動の概要】・広報誌の発行・高齢者対策事業・環境美化
・図上防災訓練・社会参加促進事業 他



特殊詐欺
対策講義



成果

寸劇の前に幡生交番署長さんより、最近の特殊詐欺についての講話をして頂き、「それが詐欺か!」と思って寸劇を見ていると、「身近な自分自身の電話対応にも詐欺に掛りやすい事に気付かせられた。」と言う参加者たちの声があり、「何かあればお互いに声をかけあいだまされない様に行きましょう。」との声が聞かれました。



講義の様子

03 高齢者対策事業 地域で安心して生活するには

経緯

少子高齢化の中で、生まれ育った場所で生活するには、地域にどのような施設があり、どのようなサービスが受けられるのか、地域の人たちとはどのように接して行けば良いか認識してもらうため、実施しました。

【 向洋地区まちづくり協議会 】

繋げよう! 地域の輪! 人の輪!



活動内容

【開催日】
令和6年2月10日

【開催場所】
下関市民センター

【参加人数】
44名

【活動内容】
○在宅生活の効果

○軽費老人ホームや他の老人・養護・高齢者施設などを活用した生活方法などの講義



成果

本庁西部地域包括支援センターに講師をお願いして、現状での施設対応などについて講義をして頂きました。また、自分達に適した施設の訪問視察などを行い、地域での生活環境を考える事を実感しました。



講義の様子

01

「いきいきサロン山の田」 「カラオケクラブ」 (高齢者サロンプロジェクト部会)

経緯

山の田地区まちづくり協議会専門部会の呼び掛けを受け、山の田地区社協共催の「山の田いきいきサロン」を令和元年4月から毎月第2・4木曜日に北部長寿の杜憩の家(北部公民館前)で開催しています。

元気に長生きする秘訣は「きょういく」と「きょうよう」と言われています。今日行く所がある、今日用事があることです。家にこもりがちにならず、毎日買い物や病院、娯楽など出掛けることが、足腰を鍛え、頭に適度な刺激を与え、人に会ったり、笑ったり、おしゃべりしたり歌ったり、体操したりすることで心身とも健康で穏やかな日々を過ごすことが出来ます。高齢者のボケ防止、健康長寿につながることを狙いに、高齢者の方々が集まれる場所として開設しました。

活動内容

【開催日】

- 「いきいきサロン山の田」
毎月第2・4木曜日 午後1時から
- 「カラオケクラブ」
毎週火・金・土・月2回 木 午後1時～4時

【開催場所】

北部長寿の杜憩の家
(北部公民館前)

【参加人数】

- いきいきサロン山の田 令和6年度延べ706人
(約24回開催)
- カラオケクラブ 令和6年度延べ1660人
(約60回開催)

【活動内容】

- ・地域の60歳以上の方なら誰でも予約なしで無料で参加できます。
- ・飲み物や菓子を準備しています。
- ・内容1…「百歳体操」、脳トレゲーム、ことば遊び、ことわざ、歴史クイズなど
- ・内容2(ゲストを招いて)…マジックショー、歌謡ショー、健康体操、紙芝居、読み聞かせ、落語、笑いヨガ、楽器演奏、医療講座、消費者講座など
- ・カラオケ(主催自治会住民以外の参加者100円徴収)



器楽演奏会

成果

【成果】

令和6年度で7年を経過して、近隣の高齢者には無くてはならない憩いの場として楽しんでいただいています。ボランティアゲストも多数出演して、毎回参加者全員楽しみにしています。

当サロンを題材にした卒論を書いた大学生もいらっしゃいます。また、包括支援センターや病院、老人ホーム、福祉施設、地域の方々にも運営に応援いただいています。ゲストも歌謡ショー、健康体操、笑いヨガ、器楽演奏、紙芝居、脳トレ、マジックショー他多数出演され、参加者全員楽しみにしています。

【課題】

近隣の町内ではなく、遠方の町内から当サロンに来られる高齢者の足の確保が課題です。また、サロンのスタッフの養成や円滑な運営の継続なども課題です。

【今後の展望】

さまざまな課題や難題もありますが鋭意努力しています。この「いきいきサロン山の田」のさらなる充実を図りながら、他の地区にも同様なサロンが設立可能なのかも企画してまいります。



笑いヨガ

【設置部会】・青少年育成部会・環境部会・地域文化振興部会・広報プロジェクト部会・健康運動プロジェクト部会
・支えあいサポータープロジェクト部会・高齢者サロンプロジェクト部会・防災・防犯みまもり隊プロジェクト部会
・食料・生活物資支援プロジェクト部会・地域食堂プロジェクト部会・地球温暖化対策プロジェクト部会
・地域産業・経済支援プロジェクト部会・夢見る自習室プロジェクト部会・婚活事業プロジェクト部会
・山の田を明るくするプロジェクト部会・空き家対策相談プロジェクト部会
・しもまちアプリ閲覧板システムプロジェクト部会

【活動の概要】・広報誌の発行・健康教室・防犯講習会
・婚活イベント・スマホ教室・環境整備・子育て支援
・地域食堂開催・空き家対策相談会 他

02 資源ごみ回収事業 (地球温暖化対策プロジェクト部会)

経緯

地球温暖化防止で私たちが身近にできることのひとつがごみの減量化です。

まず、ごみステーションのボックス化を進め地域内約380ヶ所の90%以上が網掛け式からボックス型に変わりカラスも激減し、きれいな街並みが実現できました。

次に、ごみのリサイクル化に取り組み、限りある資源の再利用と市のごみ処理経費の削減、そして燃えるごみを極力出さない意識改革を狙いに、資源ごみの回収事業を地域内自治会の呼びかけ継続して実施中です。

活動内容

【開催日】
毎週土曜日

【開催場所】
管内18自治会のごみステーション
(一般ごみと同じ)

【活動内容】
・回収する資源ごみ、古紙(新聞紙・雑誌・ダンボール等)、アルミ缶、スチール缶
・本まちづくり協議会が指定業者に回収、計算させ、市に申請して回収重量に応じた奨励金を受け取る。
・受取奨励金は一部を地域食堂と生活困窮者の支援金として寄付するとともに残りを自治会運営資金として有効活用している。
・令和6年度実績…(参加)18自治会(回収実績)115t(受取奨励金)482,000円



網式ごみステーション被害



手作りのごみかご

成果

【成果】

平成30年に7自治会から賛同を得てスタート以来、令和6年度は管内18自治会が参加。回収重量も31t(平成30年)、106t(令和5年)、115t(令和6年)と着実に増えています。奨励金を自治会等の関係団体へ還元したほか、本まちづくり協議会へ奨励金の13%を自主財源として受け取りました。

【課題】

事業開始以来、参加自治会数は、年々増加していますが、現在は管内の33自治会中18自治会で、引き続き参加を促してきています。しかし、なかなか理解を得られないこともあります。今後も未参加の自治会へ説明を続けて、参加自治会を増やしていきます。

【今後の展望】

ごみがお金に変わり、市のごみ処理経費を削減でき、資源のリサイクルとCO2排出削減に貢献しています。未参加の自治会へ働きかけ管内の全自治会参加の事業を目指します。また、他地区のまちづくり協議会にも参加を呼び掛けて、下関市の資源ごみの有効活用、ひいては地球温暖化防止に貢献していきたいと考えています。

【豊かで明るくしみ良い
安全で安心な魅力あるまちづくり】



01

地域活性化事業 若者交流会「彦まち愛ランド大作戦」

経緯

彦島地区まちづくり協議会は、人口増加への一助として出会いの場づくり事業を推進しており、若い人の出会いの場がないという声を聞き、何かできないかとの気持ちで婚活事業に参画しました！

若者がイベントに参加する事で地域の活動を知り、一緒に協力してもらうきっかけ作りになることを願い「出会いの場づくり」事業として取り組んでいます。

活動内容

【開催日】

令和5年

①11月4日 ②11月26日 ③12月17日

【開催場所】

- ①ひこつとらんどマリンビーチ
- ②彦島公民館 料理室
- ③ゾーナイタリア下関

【参加人数】

①20名 ②29名 ③35名
計84名

【活動内容】

- ①ビーチクリーン作戦
- ②ふくふく教室
- ③クリスマスパーティ

【活動内容】

違う内容で3回開催することにより参加者同士の交流が増し、最後のクリスマスパーティを有意義に、楽しく・にぎやかに終える事ができました。



ビーチクリーン作戦 清掃中



クリスマスパーティ

成果

第1回目の「ビーチクリーン作戦」から始まり、第2回目「ふくふく教室」、第3回目「クリスマスパーティ」と参加者が①、②、③と参加する中、回を増す事に和気あいあいの雰囲気が増し、5組のカップル誕生！

愛ランド大作戦大成功でした。「第1回彦まち愛ランド大作戦」のメンバーが縁活から恋活、婚活に進展行くことを願っています。

現在はスタッフとして参加してくれるメンバーも多数おり、行って良かったと思います。

【設置部会】・広報事業・活動サポート事業・地域交流事業
・安心安全まちづくり事業・学校連携事業
・彦島の歴史研究事業・地域活性化事業 六連島活性化事業

【活動の概要】・広報誌の発行・ホームページ作成管理
・高齢者のサポート・子育て支援・環境美化活動 他



02 彦島の歴史研究事業 海上からの彦島視察

経緯

彦島は、日本遺産等が有りますが、陸からは見ることが難しい箇所もあり、彦島のことをもっと知る為に「海から彦島を見る」活動を実施しました。

活動内容

【開催日】
令和6年8月20日
令和6年10月21日

【場所】
関門航路



海上から見た「旧金の弦岬灯台」

【参加人数】
55名(1回目:20名、2回目:35名)

【活動内容】
国土交通省九州整備局関門港事務所や、関門航路事務所のご協力で、一回目は、大人(歴史文化の探求に興味のある方)を対象に、また2回目は小学生を対象に実施しました。
海上からの視察以外にも、港湾の役割り等や関門航路の説明等、座学も実施しました。

成果

普段 陸上からは見ることができない日本遺産の旧金ノ弦岬灯台などの歴史遺産や、三菱造船、三井化学などの工場、関門航路ではグラブ浚渫船をみるなど、彦島の周りでの産業活動も視察できました。



救急胴衣を着て乗船

03 地域交流事業 スマホ無料相談教室

経緯

スマホ全盛の世相ですが、スマホは便利な使い方(アプリ等)が沢山ありすぎて、販売店などでは、高齢者向けに丁寧に教えてもらえない、予約も取りにくい、さらに一度聞いても忘れるなどで、困っている人が多いとの声を良く聞きます。そのため、スマホ無料相談教室を実施しました。

活動内容

【開催日】
令和6年11月9日
～令和7年2月末迄

【場所】
彦島公民館 研修室

【参加人数】
約200人
(延べ人数)



スマホ教室

【活動内容】
12月～2月まで、週3回(3時間/日)、延べ35日の教室では、受講者約200人(延べ人数)の参加がありました。

彦島第四自治連合と共催し、赤い羽根共同募金を元手とした下関市社会福祉協議会の助成金を活用し、下関市立大学の学生3人に講師や教材の作成を依頼し、講習科目としてメール篇、LINE篇、アプリ篇などを実施しました。

成果

参加者は60歳代～80歳代の高齢者がほとんどですが、講師のやさしい講習を熱心に聞いたり、講師は一人なので、受講者が互いに譲り合って質問したり、受講者同士で教え合うなど、住民交流の場にもなりました。

また講師の声として、「皆さんの成長を実感します!」とのコメントが有りました。

講習終了後も継続の声が沢山あれば、次年度も開催を検討したいと考えています。

01 高校生マルシェ in 中浜市場

経緯

長府の台所である「中浜市場」の空き店舗を利用し、地域の方と交流しながら地域を盛り上げたいと、高校生が企画したイベントです。市内の高校生が各校で作った食品や雑貨、または仕入れた商品を販売しました。

また、商工業活性化部会は運営のアドバイスや当日の受付業務をし、高校生達をサポートしました。

活動内容

【開催日】

令和6年3月16日(土)11時～14時

令和7年3月15日(土)11時～14時

【開催場所】

中浜市場

【参加人数】

市内6校の高校生35名

来場者350～360名

【活動内容】

～参加校と販売品～

○山口農業高校西市分校
(手作りジャム・ソーダ)

○田部高等学校

(田部っ子クッキー・菊フロランタン・手作り雑貨)

○下関工科高等学校

(木工椅子・木工鉢・木工鉢カバー)

○下関商業高等学校

(幸ふくのおだんご)

○早鞆高等学校

(パウンドケーキ・ラスク・手芸雑貨)

○長府高等学校

(炊き込みご飯・マドレーヌ・雑貨)



高校生マルシェ in 中浜市場

成果

高校のコミュニティスクールの取組により、学校を核とした地域づくりに沿った、高校生が参画する良い事業です。地域の方からは「また開催して欲しい」「今度はいつ？」とたくさんの声をいただきます。

ただ、学校行事や各校の日程調整で年に1回の開催しか出来ていないことが残念です。今後は高校生に負担の掛からない範囲で、各校の参画と開催時期や回数を検討していく必要があります。



長府高等学校の皆さん

point

長府の特性を活かした魅力ある活動を心掛けています。

各事業は、楽しく・元気に・笑顔で活動しています。

【設置部会】・広報部会・教育部会・健康・体育部会・商工業活性化部会
・観光活性化部会・環境・安全部会・未来創造特別部会

【活動の概要】・ニュースレターの発行・長府の寺子屋・町民大会の開催
・活性化プロジェクト・海岸清掃・季節のイベント 他



02 ひなまつり絵さげ飾り (観光活性化部会)

経緯

長府地区では、ひな祭りの時季に合わせて長府毛利邸、長府庭園、各店舗を中心に「城下町長府ひなまつり」を展開しています。長府まちづくり協議会は、長府商店街アーケード、商店街の金融機関の市店舗内に子ども達の描いたおひな様の絵にさげ飾りを付けて飾り、「城下町長府ひなまつり」をさらに盛り上げています。

活動内容

【開催日】

令和7年2月8日～3月9日

【開催場所】

- ・長府商店街アーケード
- ・山口銀行長府支店内
- ・西京銀行長府支店内
- ・西中国信用金庫長府中央支店内

【参加人数】

- ・豊浦小学校1年生
 - ・長府の幼保園児
 - ・子ども食堂参加児童
- 計300名

【活動内容】

○指定画用紙(一辺13.5cm)におひな様の絵を描いてもらうよう、小学校及び幼保園に依頼します。

○子ども達の絵はラミネートし、さげ飾りを付けて飾ります。

○ラミネート作業、さげ飾り付け作業、アーケードや金融機関内の設置作業と撤収作業には観光活性化部会員をはじめ多くの地域ボランティアが関わっています。



金融機関店舗内

成果

子ども達のおひな様絵さげ飾りは保護者にも好評で写真を撮って記念にしているようです。金融機関からは、「店舗内が子ども達のさげ飾りで明るくなり、お客様も笑顔で見られています。」と、毎年快く展示場所に協力していただいています。今後は、長府の企業内保育園に声を掛けてたくさんの子ども達のさげ飾りを展示したいと考えています。



長府商店街
アーケード



金融機関
店舗内



01 認知症フェア

経緯

長府東部地区は平成25年に、下関市で最初の認知症声掛け模擬訓練を実施した地区で、長府東部地区まちづくり協議会では、平成30年3月に長府地域包括センターとタイアップし、市の地域力アップ事業として「認知症フェア」を開催しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大があり、中止の年もありましたが、令和5年に第4回を開催することができました。

活動内容

【開催日】
毎年3月第二日曜日

【開催場所】
長府東公民館

【参加人数】
約200名

【活動内容】
医療関連の病院・薬局の医師や薬剤師他認知症家族会の従事者を招き講義や体験談、健康相談を中心に行っています。

また、ギターやまち協合唱団による演奏も行い、「認知症になっても大丈夫！」とやさしいまちづくりを目標としています。



認知症フェア 友松会長のご挨拶

成果

高齢化が進む時代となり、認知症疾患患者も増加している現状、認知症患者への接し方等を学ぶと共に、自らが認知症にかからない工夫を、日々の生活で実施していくことが必要であるということを広めていきたいです。

我がまちづくり協議会で開催するこの認知症フェアの参加者が長府東部地区以外の方も年々増加しており、今後も他地区からの参加者が増加することを期待して計画したいと考えています。

【スローガン】

学びあい・支えあい・みんなでつくる
住み良いまちづくり



02 合唱活動・演奏

経緯

地元長府東公民館での活動に合唱サークルがなく、長府小、長府中の校歌を地域の方で歌えたら、地域が一つになるのではということで、平成29年秋に長府東部まちづくり協議会で合唱団を結成し、20数名の団員でスタートしました。練習の成果を発表する機会は、地域の「ふるさと祭り」「文化祭」「認知症フェア」「その他講演会」のステージです。演奏する曲名は、校歌はもちろん唱歌、歌謡曲、Jポップと幅広いジャンルの曲を演奏し、現在の団員は40名にも増えています。

【設置部会】・総務・広報部会 ・合唱・文化部会 ・地域福祉部会
・防災・防犯部会

【活動の概要】・防災講習会 ・広報誌の発行 ・きれいなまちづくり
・合唱活動 ・スポーツ交流 ・認知症フェア 他

認知症に
やさしいまちづくり

防災に
つよいまちづくり

活動内容

【開催日】
毎月 最終日曜日

【開催場所】
練習：長府東公民館 演奏：イベント会場

【参加人数】
団員数 40名

【活動内容】
月1回の練習のため、新曲に取り組む度に各パートの音源を配布し、自主練習用に活用しています。月1回の練習は2時間で練習時の録音を配信し、それを復習用として活用しながら、レベルアップに努力しています。



認知症フェア 合唱団演奏

point

6年前に策定したまちづくり計画書のスローガン『学びあい・支えあい・みんなでつくる住み良いまちづくり』を継続して進めていますが、会員の高齢化が進み、事業推進にマイナス面が発生しています。
今後は若い世代が参加しやすい事業内容での計画を行い、地方文化を含め継承を進めていきたいです。



長府駅

成果

合唱活動は多くの団員とのコミュニケーションができ、また新しい曲への取り組みもあり、非常に楽しい活動です。特に日頃の練習の成果をいろんなイベントで演奏し、多くの方の講評を聴けることは次の課題や目標ができ、チームとして大きな成果です。今後は合唱経験がない人でも、気軽に参加できる活動団体にしたいと考えています。

長府東部わがまち憲章

- 1、私たちは
健やかなからだを
豊かな心を育む
まちをつくります
- 1、私たちは
大人の優しさと
こどもの元気が広がる
まちをつくります
- 1、私たちは
誰もが安心して
安全に暮らせる
まちをつくります

01 健康づくり 体操を交えた講話会

経緯

健康福祉部会では、健康づくりの一環として、認知症の対策に取り組んでいます。今回は吉田地区の住民を対象に認知症予防のための脳トレ体操や運動、栄養、睡眠に関する健康法を身につけて貰う研修体験を行いました。

活動内容

【開催日】
令和6年1月30日

【開催場所】
吉田公民館

【参加人数】
50名

【活動内容】
○認知症予防のための脳トレ体操

○総合健康法(運動・栄養・睡眠等)についての講話



健康づくりの講話



脳トレ軽体操

成果

普段とかく疎かにしがちな健康維持について実際の体験を通して、その必要性を学ぶことができ、とても効果的でした。

02 防災教室

経緯

昨今の各地における地震や自然災害の発生に伴い、日頃から災害に対する知識や能力を身につけておくことが大切です。

東部5地区まちづくり協議会では、そのための一助となる防災教室を実施しました。

活動内容

【開催日】
令和7年1月19日

【開催場所】
小月公民館

【参加人数】
145名

【活動内容】
各ブースに分かれて体験活動を行う。

- ・ゴミ袋でカッパ作り
- ・VRゴーグルによる体験
- ・簡易担架を使っでの体験
- ・ローリング法による自宅避難
- ・段ボールベットの組み立て体験



VR体験



ゴミ袋カッパ

【設置部会】・総務部会・環境部会・健康福祉部会・安全・安心部会
・青少年育成部会・産業・観光部会

【活動の概要】・広報紙の発行・防災訓練及び防災研修
・花いっぱい運動・上映会・史跡案内看板修理作業 他



成果

災害に対して無頓着になりがちな日常生活の中で、体験を通して災害への備えを身につけることができました。



段ボールベッド組み立て体験

03

ピアノと歌で奏でるリズム体操

経緯

東部5地区まちづくり協議会の健康福祉部会では、各地区持ちまわりによるイベント活動を推進中です。それぞれの地区において、住民の健康推進と心身のリフレッシュを目的として実施しています。



ピアニストとソプラノ歌手のコラボ演出

活動内容

【開催日】
令和7年1月26日

【開催場所】
清末公民館

【参加人数】
100名



ピアノ演奏

【活動内容】
ピアニストとソプラノ歌手のコラボ演出によるピアノ演奏や歌、体操、反応ゲームなどを楽しみながら、元気になるイベントを開催。



ピアニストの方と一緒に体操

成果

子供たちから高齢者の方々と、幅広く多くの方に来ていただき、共に歌ったり、身体を動かしたりしながら、楽しい時間を過ごすことができました。

point

当協議会は地域範囲が広いので、それぞれの事業を地区ごとに実施しています。そうすることにより、できるだけ多くの皆さんに参加してもらうよう工夫しています。

01 「勝山地区自主防災訓練・避難所運営体験」

経緯

近年の全国各地の自然災害は毎年のように甚大な被災をもたらしており、下関市内でも豪雨によって、災害ボランティアセンターを立ち上げるほどの被害に見舞われています。その状況を鑑みますと、勝山地区においても自治会ごとの防災組織づくりや備えは必須であると考えます。そこで、当協議会安全安心部会では、地域に即した防災組織のあり方や、緊急対応の際の行動計画など、地域の防災体制づくりに資するべく、標記訓練を開催することとしました。

また、参加者においては自治会の役員だけでなく、防災に対して興味を持つ住民や、地域内の福祉施設の方々にも参加を促すことと致しました。

活動内容

【開催日】

令和6年9月1日

【開催場所】

勝山公民館・勝山公民館駐車場

【参加人数】

総計228名(スタッフ94名・参加者134名)

【活動内容】

① 災害時の避難所である勝山公民館の避難所を実際に分けし、避難所運営の様子を展示する。

② 災害に備え、講堂・音楽ホールの分けを行うことにより収容人数を確認する。

③ 防災訓練として、各種機関に依頼し、展示や説明、体験の設置。

④ 中学生ボランティアや、住人として子供たちにも参加を促し防災教育を育む。

⑤ 各自治体や、近隣の住民、福祉施設と一緒に体験を行うことにより、連携が生まれ、共助の気持ちを養う。

以上の事を行うことによって、より一層防災に強い勝山の地域づくりを担います。



スタッフ集合写真

成果

成果としては、例年と違い多くの参加者となりました。今までまちづくりの研修に参加されたことのない自治会役員以外の参加者も多く、今回は家族連れや小学生スポーツ団体、福祉施設の方にも体験を行ってもらえました。また、市内の防災士の方々にも協力していただいたり、各機関とも連携の足がかりとなりました。

課題としては、大掛かりとなったため、内容が多すぎて慌ただしくなっていました。準備段階では、確認作業が不十分で色々不都合が生じ、何度変更作業が必要になりました。

次年度に向けては、各機関との連携を深めていながら、体験や訓練の内容を再検討していきたいと考えています。

point

災害に強いまちづくりを目指すため、地元の小中学校を訪問し、地域防災の大切さを伝え、児童生徒たちが未来の地域防災の担い手育成の一助になることを目指しています。

今後も、地域一丸となって様々な防災対策や活動を行っていきます。

【設置部会】・地域活性化部会・教育文化部会・移住環境部会
・健康福祉部会・安全安心部会

【活動の概要】・広報誌の発行・地域活性化対策・歴史文化研究と継承
・やさしいまちづくり推進事業・花いっぱい運動
・地域防災対策 他



02 より～ねしんしも！ クリスマスコンサート

経緯

このクリスマスコンサートの会場とした場所は、かつて新下関駅の切符売り場や喫茶店などが営業し、人の流れがあった場所でした。現在は、ストリートピアノが常設してあるものの未利用のまま持て余した空間となっています。

そこで、このストリートピアノを活用し「再び人が集まる場として盛り上げたい」「新下関駅を中心とした周辺地域の人流を活発にしたい」「新下関駅の魅力を広く発信し、駅への愛着を持ってほしい」という思いで、若者から年配者まで楽しんでもらえるコンサートを開催しようということになりました。

活動内容

【開催日】
令和6年12月15日

【開催場所】
新下関駅構内待合コーナー

【参加人数】
出演者数 14名
来場者数 約300名

【活動内容】
より～ねしんしも！クリスマスコンサートの開催

①クラシックーピアノ&ソプラノソロー

エリザベト音楽大学大学院生2名による
演奏と歌唱

② ジャズー森本和希カルテットー

森本和希氏(ピアノ)を含む山口県在住のテナーサックス、ベース、ドラムスの各演奏者
によるジャズ演奏

③ハンドベル

梅光学院中学校・高等学校生徒によるハンド
ベル演奏

※会場での「しんしもグルメマップ」の配布

まちづくり活動の基本テーマ
【勝山地区ならではの“暮らしの幸せを実感
できるまちへ”】



梅光学院中・
高等学校
ハンドベル

クラシック
ピアノ&ソ
プラノソロ



成果

いずれの出演者もこれまで多くの演奏活動やステージを経験してきた方ばかりで、非常に高いレベルでのパフォーマンスに観客は魅了されていました。120席の観客席は常に満席状態で、立ち見も含めてたいへん多くの方に来場してもらうことができました。また、観客の反応にも満足感が染み出て、次回開催の期待も非常に高いものがあると感じました。

このような企画を新下関駅のイベントとして定着させ、新下関駅の魅力の一つとして広く発信していきたいと思えます。そのことで周辺地域も含めての経済効果や人的交流、文化的交流の活性化を目指していきたいと考えています。



ジャズー森本和希カルテットー

01 内日地区全住民アンケート実施

経緯

年度初めに会長の意向により「全住民アンケート」に取り組むことを希望し、里山くらしLABOとの打ち合わせを経て実現しました。

丁度令和6年度、当協議会はまちづくり計画見直しの年にあたり、全住民アンケートを一つの手法として取り入れることにしました。

活動内容

【開催日】

アンケート実施

令和6年10月末～11月28日

アンケート結果報告会

令和7年2月16日

【開催場所】

内日公民館

【参加人数】

・報告会参加 約60名

・アンケート配布部数 844部

・回収部数 728部

ワークショップ

【活動内容】

○自治会を通じて、内日地区にお住いの中学生以上の方を対象にアンケート用紙を配布・回収

○収集したアンケートは有償ボランティアを募集し、オンライン入力

○里山くらしLABOが集計・分析を行い、アンケート結果報告会を経て、報告冊子にまとめて全戸配布



報告会の感想・自分にできることの書き出し

成果

地区の皆さんがアンケートに参加することで、地区の現状や問題点に関心を持ち、自分にできることは協力しようという意識が高まったように思いました。

反省点として、現在のまちづくり協議会の活動は認知されていない感じがあるため、SNS活用などで周知方法を工夫する必要があります。そして、地区の皆さんの理解を得て、快く活動や行事に参加してもらえるよう、主催者側も努力が必要だと感じました。

また、今後の活動内容についても令和7年度策定のまちづくり計画書と絡めて、地区の皆さんの要望が反映されるよう、見直しをしていく必要があります。



アンケート結果によるクイズ



里山くらしLABOによる
分析結果説明

【設置部会】・総務部会・定住促進プロジェクト部会
・活性化・イベント部会
・産業・環境部会・暮らしの安全と教育部会



02 地域行事の実施「どんど焼き」

経緯

内日地区でひと昔前には、にぎやかに行われていた行事が、どんどん廃れていくことに危機感を覚え、子ども達に地域の伝統行事を引き継いでいきたいという思いがありました。

その中で、まちづくり協議会の部会員の力で何か地域行事を復活できないかと話し合い、新年の恒例行事だった「どんど焼き」を実施することになりました。

活動内容

【開催日】
令和7年1月13日

【開催場所】
うつい小中学校グラウンド

【参加人数】
約80名

【活動内容】
○竹でやぐらを組み、しめ縄・書き初めなどのお焚き上げ

○昔の遊び体験として、けん玉・こま・竹とんぼ・風揚げなど

○おき火を利用して参加者自ら焼きマシュマロを楽しむ

○内日消防分団による放水実演を見学



おき火で焼きマシュマロ



小中学生によるやぐら点火！



どんど焼きの様子

成果

今回で4回目となる「どんど焼き」は毎年参加者が増えており、子どもから大人まで楽しめる恒例行事になりつつあります。

伝統的な行事を若い世代にも受け入れられる活動として定着させ、今後も長く続けていきたいと考えています。

消防内日分団
による
放水実演



03 令和6年度まちづくり研修会

経緯

内日地区で空き家が目立ち始め、今後の対応が地区の課題になっています。他方で、小規模特認校のうつい小中学校の開校により、内日地区への関心が高まり移住希望者も増えています。空き家を地域の宝と考え利活用することができないかという意見が多くありますが、どこから手をつければよいのか分かりません。

そこで、内日地区で古民家をリノベーションしてレストランを開店した方のご紹介で、工事に携わった建築士さんに空き家の利活用についての講演をお願いしました。

活動内容

【開催日】
令和7年3月9日

【開催場所】
内日公民館

【参加人数】
約40名

【活動内容】
○演題「人口減少社会の空き家利活用」
一木屋川水系から考える内日のまちづくりー
講師：山口県建築士会下関支部 吉富英彦氏

講演の前半は吉富氏の生い立ちや建築士の仕事について、後半は古民家のリフォームや、内日の水脈から見る土木建築の方向性などについてコーヒータイムをはさみながら、終始和やかに話を進められました。



「すずのや」のリノベーションの話

成果

まちづくり研修会は毎年、その時の時事問題や話題などから地区のみなさんに有用なテーマを選んで行っています。今回も講演後のアンケートでは参加者から、講師の話が大変分かりやすく興味深いものだったと好評を得ることができました。

今後も内日の活性化のために幅広く色々なジャンルのテーマを選んで、研修会を行っていきたいと考えています。

スローガン

【 楽しく 無理せず できる人が できることを できるだけ 】



講演会の様子

01 飲食店スタンプラリー

経緯

この事業のきっかけは、毎年、自治連合会主催で行われている「夏祭り」にアンケート調査を実施し、その結果を踏まえたものです。調査の対象を中学、高校、大学生、及び20代の一般青年としました。

要望が多かった事業のひとつに「飲食店巡り」がありましたので、ポイントラリー制にして実施いたしました。若者の要望に答えて行った初めての事業です。

活動内容

【開催日】

令和7年1月3日～3月9日

【開催場所】

川中地区まちづくり協議会エリア内の「食事ができる店」を対象

【参加人数】

賞品応募対象家族 58家族
 ポイントを満たしていないが、参加された家族は多数

【活動内容】

- ・協力店 48店舗
- ・賞品 地産水耕栽培野菜

3ポイント以上の家族には参加賞として、5ポイント以上の家族には抽選で10家族に、ポイント数の多い上位の3家族には特別賞として、それぞれ水耕栽培の野菜をプレゼントいたしました。

応募基準は3ポイント以上のお店を利用された家族に限定いたしました。



飲食店スタンプラリーのチラシ

ー スタンプラリーにご協力いただける「お食事ができるお店」一覧 ー

店名	店名	店名	店名
本物四川風麻婆豆腐 かん 川中豊町 6-8-26	(有) 馳走家 池田 伊倉本町 2-23	紫陽花 綾羅木本町 1-15-30	瓦そば たかせ ゆめシティ 1F
天ぷら処 天 川中豊町 3-3-5	Chinese Restaurant 菜華 伊倉新町 2-1-1	居酒屋 いちごや 綾羅木本町 3-1-10	豚ステーキ専門店 B (ビー) ゆめシティ 1F
焼肉 泰ちゃん 川中豊町 3-3-17	萬壽ラーメン 山小屋新下関店 伊倉新町 1-1-25	(有) 浜寿司 綾羅木本町 3-13-5	かつま ゆめシティ 1F
和食屋 ぼっぼ家 川中豊町 5-1-12	居酒屋 セ (ナナ) 川中本町 1-30 玉城ビル 1F	かわ本 焼肉 綾羅木本町 4-1-19	揚げたて天ぷら 那がむら ゆめシティ 1F
お好み焼き・鉄板焼き かわ本 豊町店 川中豊町 7-14-1	串 勝 川中本町 1-31 玉城ビル 1F	Orso Bar Napoletana 綾羅木本町 4-1-19	Namaste ゆめシティ 1F
焼肉 食道園 川中豊町 7-13-14	居酒屋 樹 樹 伊倉町 3-6-19	ケンタッキー フライドチキン 下関綾羅木店 綾羅木本町 4-1	自家製蕎麦のお店 そばのれん (兼) ゆめシティ 1F
食処 あふた 川中豊町 7-11-15	もり田 綾羅木本町 4-1-32	焼肉 えっちゃん 綾羅木本町 4-5-15 アソハイブ 104	しゃぶしゃぶ 美山 ゆめシティ 1F
中華ダイニング 炎 EN 川中豊町 1-12-38	御食事処 すいれん 綾羅木本町 6-20-17	ラーメン 和 綾羅木本町 1-5-9	おいしい定食屋 百葉 ゆめシティ 1F
イタリアンハウス JEJE 神戸ジュジュ 熊野町 3-13-15	串揚げ キリン 綾羅木本町 4-10-14 河合ビル	Beachmans Cafe 綾羅木本町 7 丁目 (綾羅木店)	海鮮井 角島 魚心 ゆめシティ 3F フードコート
和食屋 びせん 熊野町 2-14-23	やきとり・居酒屋 さのやん 綾羅木本町 1-12-8	BEAT CAFE 綾羅木本町 7 丁目 (綾羅木店)	餃子 中華食堂 大飯王将 ゆめシティ 3F フードコート
居酒屋 かつば 川中豊町 2-7-15	居酒屋 いち 武久町 2-81-15	やすもり綾羅木店 古屋町 1-1-13	T-STYLE CAFE CIEL 神田西町 9-19
サンレージュ三村ビル 1F	御食事処 花 垢田町 1-21-5	どんかつ かつや 下関垢田店 古屋町 1-18-19	オスチアアイニツツイオ 垢田町 3-1-27

ご協力いただいた店舗

成果

【結果】

- ①応募は58家族であり、想定数より非常に少なかった。
- ②利用延べ店舗数は400店舗を超えていた。
- ③3ポイント(3店舗)以上を巡った家族が応募の条件であったことから、2店舗までの家族は応募できなかったことは残念であった。

【課題】

- ①スタンプ押印用の紙媒体を電子媒体に変更。
- ②実施期間を長くする。
- ③準備期間が遅かった。

【スローガン】

みんなでやろう！手作りのイベントを！！



02 共催事業 第4回「Candle Night 2025 in 下関市立考古博物館」

経緯

「3月11日」は綾羅木郷遺跡が国の史跡指定を受けた記念日です。また、東日本大震災の日でもあることから、『Candle Night』として、共催で実施しています。今年度が4回目になります。

活動内容

【開催日】

令和7年3月8日(土)

【開催場所】

下関市立考古博物館敷地内

【参加人数】

来客者 1,066名

スタッフ 72名

(含中学・高校生ボランティア23名)

【活動内容】

考古博物館内の展示・装飾

《キャンドル》

円型公園 700個

《竹灯籠大物》

円型広場 1基

《ペットボトルランタン》

円形広場 200個

竹灯籠展示用 93個

導線 450個

《紙コップランタン》

敷地内 1300個

○プロジェクションマッピング 3箇所配置

○ナイトバブル体験

多くの親子連れでにぎわった。

○館内講堂にて映画「時と土」を上映

1969年3月11日に緊急指定による綾羅木郷遺跡の国史跡指定に、遺跡保存を取るか、産業開発を取るかの激動の時を経て今にその成り立ちを伝える。



700個の輝くキャンドル

成果

小学生・中学生の手作りの紙コップランタン及び情報発信等により、1000人を超す来場者を迎えることができました。

今後の展開として、住民ひとりひとりの手作りランタンとキャンドルで会場を装飾し、住民参加のイベントとして盛り上げていきたい。

point

～事業展開のコンセプト～

- ①共助組織への理解を促す取り組み
- ②多くの住民が参加しやすい事業・多様な価値観に応じた事業
- ③次世代の担い手の育成に繋がる事業
- ④協力(支援)体制の組織づくり



生徒・児童作成の紙コップランタン

【活動の概要】・広報誌の発行・防犯講習会・環境整備
・オレンジカフェ開催・子ども体験フェア
・生涯スポーツ大会・海響マラソン応援プランター設置 他



03 共催事業「七夕ふれあい祭り」

経緯

しものせき市民活動センターふくふくサポートフラッグ「ボランティアギルド」より共催の申し出があり、協力させていただきました。

活動内容

【開催日】

令和6年6月29日

14時00分～17時00分

【開催場所】

川中公民館講堂

【参加人数】

来客者 350人

スタッフ 37人

(ボランティアギルド・まちづくり協議会)

【活動内容】

《七夕ワークショップ》

①短冊づくり

②折り紙でお星さまづくり

《ミニミニ縁日》

①綿菓子

②スーパーボールすくい

③射的ゲーム

《クッキープレゼント》

川中地区子ども食堂のスタッフによる手作りのクッキー。

※完成した20本の七夕は6月30日～7月7日まで「ゆめシティ エントランスホール」にて展示させていただきました。

point

～活動展開～

- ①共催事業の取り組みを増やす
- ②各々の活動に応じた、住民へ協力・支援の呼びかけ



20本の笹に様々な飾りがつるされていきます

成果

大学生ボランティアグループ「ボランティアギルド」のエネルギーな若者と共に行うイベントは、強く薦める活動方法です。

今回の活動事例3例とも、一つのまちづくり協議会で、一つの部会で行う事業にくらべ合理的で、携わる人の負担軽減にもなります。

そして多くの参加人数が見込まれ、活性化にも繋がる事業であったと確信しています。

「飲食店スタンプラリー」などの事業は地元企業やお店を、「Candle Night」は学校、児童生徒、保護者を巻き込み、「七夕ふれあい祭り」は他の組織とのコラボレーション企画です。これらは新しい視点・観点で取り組む強さを感じる、活動事例です。



350人を超す参加で短冊づくり

01 親子ウナギ釣り大会 (友田川環境保全活動)

経緯

安岡地区まちづくり協議会では、県下関土木事務所の方々、住民や地域の高校生の皆さんの協力の下、友田川整備計画によって、川岸が保全され地域住民の安全通行と福利厚生に供しています。

しかし、豪雨時は氾濫の危険があり、「暴れ川」と呼ばれる友田川ですが、ホタルや魚類などの水生生物が住む、生物多様性に富んだ川でもあります。

生涯学習の一環として、ものづくりを学んでもらうため、小中学生自身が作った仕掛けでウナギ釣りを体験することで、自然豊かな故郷の友田川に親しんでもらい、思い出に残る夏のひと時を楽しんでいただくことを目的としました。

活動内容

【開催日】

令和6年8月18日(日)
午後1時、午後6時

【開催場所】

安岡公民館、友田川 胡麻田橋上流付近

【参加人数】

10名

【活動内容】

《ウナギ釣り仕掛け講習会》

(安岡公民館 午後1時)

- ・ペットボトル、釣り糸、釣り針とオモリを材料に親子で仕掛けを作成
- ・完成後に仕掛けを投げ、回収する練習を実施

《ウナギ釣り大会》

(友田川 胡麻田橋上流付近 午後6時)

- ・日中、安岡公民館において製作した仕掛けを使って友田川でウナギ釣り大会を開催
- ・ウナギの釣果は数匹

※事前準備として、安全な釣り場の選定、試し釣り、釣り場の草刈り、数日前に撒き餌を実施、仕掛け用のミミズ採取、畜養などを行った。



釣れた
ウナギ



ウナギ釣り大会の様子

成果

【成果】

釣れたウナギは数匹で、実際にウナギ釣りを体験出来たのは参加者の一部でしたが、子どもたちには親子やまちづくり協議会メンバーとの多世代交流ができました。また、友田川の豊かな自然とのふれあいなどによって参加者の方々には思い出に残る、夏の夜のひと時を楽しんでもらいました。

【課題】

8月は餌のミミズの確保が難しく、ウナギが良く釣れるのは6月～7月ですが、梅雨時は水かさが増えるので安全面から実施できません。子どもたちが安全にウナギを釣るには梅雨明け後の7月が適期です。

【今後の展望】

ウナギ釣り大会の7月開催が理想であると考えます。今後も引き続きウナギ釣り大会をはじめ、友田川の自然に親しんでもらう事業を行います。また、地域住民に自然に触れ、リフレッシュできる空間を提供できる友田川に面した森に親水広場を整備する事業も行います



仕掛け作り

日没後のウナギ
釣り



01 豊浦町まちおこしプロジェクト プラザで〇〇

経緯

道の駅のない豊浦町では、川棚温泉駅併設のコミュニティ情報プラザが観光の玄関口であり、豊浦町のにぎわいと元気なまちづくりに向けたイベント開催や情報発信基地の役割を果たす必要があります。

しかし、プラザ内の店舗は長く閉じられた状態で、行政も地域も情報プラザの重要性を認識しておらず、豊浦町の名産、名所の情報発信もしてきませんでした。

昨年3月に、特産品コーナーを「青龍の里」という名称で、営業を始めたことで、改めて行政をはじめ地域の多くの方々が、情報プラザの有効な活用の重要性を再認識し、この施設を中心に様々なまちおこしプロジェクトを住民に募集する形で行おうと決めました。

しかし、青龍の里は惜しくも6月末をもって閉店いたしました。

活動内容

【開催場所】

川棚温泉駅併設
豊浦コミュニティ情報プラザ ホール

開催日	活動内容	参加人数
4/25～	豊浦町観光マップ配布	
5/3～5/6	古本交換会	30人
6/15	プラザdeグルメスイーツフェス	200人
9/1～9/28	山陰本線写真展	280人
9/29、10/27、11/24、2/23、3/23	立ち寄り処「ほっちゃ」(オレンジカフェ)	120人
9/30～10/6	室津の鍔絵展	60人
10/20～3/30	mino'akaマルシェ	200人

開催日	活動内容	参加人数
11/23～30	景観賞受賞パネル展	50人
12/1～20	豊浦総合支援学校生徒の作品展	100人
12/7	プラザdeグルメうまいもの市	300人

うまいもの市



成果

事業開始当時は、非常に低かった「豊浦コミュニティ情報プラザ」に対する認知度は、スイーツフェス、写真展や作品展、地域の方々のスペシャルオリンピック支援の24時間ライブなどで、町内外からの来訪者も増え、高まってきました。

また、定期的にオレンジカフェを開催することで、地域の憩いの場としての評価も高まっています。うまいもの市やマルシェの開催により、地域の店舗や作家の作品販売の場ができたことも収穫で、駐車場があり、JR山陰本線で来場できるプラザがイベント開催にも適していることが多くの方々に理解されてきました。

来年度以降も、より広範囲に地域を巻き込んだ利活用を心がけたいです。

ほっちゃで体操



10月マルシェ



02

健康寿命を延ばす まちづくり卓球教室

経緯

卓球は老若男女を問わず楽しめるスポーツで、町内でも卓球を楽しむ高齢者は増加しています。しかし、日常での対戦は、近隣の同年代のメンバーに限られます。まちづくり協議会では、県内のレベルの高い学校の部員を講師として招き、一緒に練習することで、技能を高めるとともに、世代間の交流を図ろうと考えました。また、中学校の部員にもボランティアとして参加してもらうことで、技能を高めるとともに、ふれあいの機会を設けようと考えました。



活動内容

はじめのあいさつ

【開催日】
令和6年11月9日

【場所】
下関市立豊洋中学校 体育館

【参加人数】
高校生17名 卓球教室参加者69名
スタッフ3名 豊洋中、夢が丘中生徒14名

【活動内容】
体育館には10台のテーブルがところ狭しと並び、町内の卓球好きが集まりました。最初に萩光塩高校の卓球部の顧問の先生から「なぜ卓球が健康寿命を伸ばすのによいか」という話を聞いた後、各台に中高生が入り、卓球に汗を流しました。最後はハンデを付けたゲーム形式で、和気あいあいとした中にも、真剣な打ち合いが見られました。



生徒紹介

成果

参加者にとっては普段は一緒に卓球をする機会のない高校生と練習することができ、「孫としているみたいで楽しい」、「異世代交流は脳の刺激になる」、「対戦モードになったら全くとれない」など多くの感想が寄せられました。

また、講師を務めた中高生からも「こんな熱気ムンムンな状況想像してなかった」、「シニアの卓球のレベル高い」と予想以上の反響で、主催した医療福祉部会も驚いています。



打ち合い！



- 【活動の概要】 ・広報誌の発行 ・あいさつ運動
・地域別環境整備事業・地域別福祉講演会の開催
・とようらみんなのステージ



03 川棚温泉駅・小串駅周辺の美化活動

経緯

以前は、住民有志が駅周辺の美化活動を行っていましたが、高齢化や利用者の変化により、放置され、荒廃した状況になっていました。地域の住民からの訴えもあり、まちづくり協議会の地域活性化部会と生活環境部会が中心となって、夢が丘中学校生徒のボランティアや地域の方と美化活動に取り組むこととなりました。

活動内容

【開催日】

毎月 第三土曜日→地域活性化部会
第三日曜日→生活環境部会
(荒天時は中止)

【場所】

川棚温泉駅旧ホーム 国道側花壇
小串駅周辺国道側花壇

【参加人数】

各回10名前後

【活動内容】

川棚温泉駅の旧ホームは草刈りがメインですが、各花壇は草取りを行い、季節に応じた花を植えています。



川棚国道側作業



小串花壇

成果

雑草が生い茂っていたホームや花壇は、月1回手を入れ、花を植えることで、かなり美観を取り戻しています。地域の方からもきれいになったとの声が寄せられます。

川棚温泉駅の旧ホーム側の清掃では、列車の乗客からの手を振ってのねざらいが、作業に取り組む者への応援となっています。今年度はこの活動に対して、市の景観賞が授与されました。

まだ参加者は協議会のメンバーがほとんどで、地域の方々の自発的参加は多いとは言えません。今後の事業の継続も見据え、より多くの方々が参加してくれるように働きかけていきたいです。

川棚温泉駅
旧ホーム側



01 竜王山登山道整備 /第1回竜王山登山会

経緯

近年の登山ブームにより、吉見の竜王山も登山者が増加傾向にあります。まちづくり協議会設立前より、ボランティアで登山道の整備をしてくれる人がいましたが、設立後はまちづくり協議会の活動として整備を続けています。

活動は通年に渡り、ステップ・路肩の整備、倒木の除去、枯れ葉の掃き下ろしや、女王バチの駆除、展望スポットの整備をしています。

活動内容

【開催日】

整備 通年

第1回竜王山登山会 令和6年11月17日

【開催場所】

竜王山(吉見側登山道)

【参加人数】

整備 1~8名

登山会 20名

【活動内容】

ステップは倒木を利用しており、劣化も早い
ため通年に渡り頻繁に交換したり、春先には女王バチを駆除することで巣(働きバチ)が増えないようにしています。また、枯れ葉が溜まると滑りやすいため、秋から冬にかけてはその掃き下ろしも欠かせません。吉見側の登山道からは吉見一帯と響灘が見渡せる箇所も多く、休憩スペースも作っています。

さらに大掛かりな整備作業は年に数回ほど有志を募って行っており、令和6年度はまちづくり協議会のイベントとして「登山会」も初めて実施しました。

しかし、年に一度あるかないかの濃霧のため、残念ながら龍王神社上宮(八合目付近)で折り返すこととなりました(笑)



登山会 霧の上宮

成果

地元小学校の校歌の歌い出しにも登場する竜王山。昔は小学校の秋の遠足で登山していましたが、最近では行っていないことから、小学生に参加してもらえるような登山会を実施していきたいです。

竜王山からの眺望✧



頂上

下関市街地
方面

吉見地区と響
灘に浮かぶ
蓋井島



六合目

【設置部会】 ・まちづくり部会 ・安全・健康・教育部会 ・イベント部会
・吉母部会 ・蓋井島部会

【活動の概要】 ・ホームページの更新 ・浴衣着付け教室 ・竜王山登山会
・吉母史跡ツアー ・蓋井島内整備 他



02 第9回毘沙ノ鼻ウォーキング

経緯

毘沙ノ鼻は本州最西端の地ですが、その石碑は毘沙ノ鼻展望広場直下の断崖の海面近くにあり、直接目に見ることが出来ません。

石碑は吉母管理場の敷地内のため、陸上から見ることは出来るのは、年に一度下関市環境部の協力を得て、普段立ち入ることが出来ない吉母管理場を開放していただいています。

活動内容

【開催日】
令和7年3月23日

【開催場所】
吉母公民館～吉母管理場・毘沙ノ鼻展望広場

【参加人数】
参加者 約400名

【活動内容】
吉母公民館をスタートし、「恐竜街道」を歩き、「本州最先端の地」石碑を目指すイベントです。途中恐竜の巨大エコアートや、国内最古の恐竜の「足跡化石」が見つかった吉母海岸等を眺めながら歩けます。

吉母公民館から吉母管理場までは片道4キロ、吉母管理場内で目的地までは片道2キロあるため、吉母公民館からの往復12キロと吉母管理場内のみの往復4キロの二つのコースを用意しています。また、今回の開催に向けエコアートは汚れを落とすリフレッシュ作業を実施しました。

管理場スタート！



恐竜エコアートを前に

成果

回を重ねるごとに市外や県外からの参加者も増え、今回は約400名に参加いただきました。このイベント実施に合わせ、地元自治体には展望広場の清掃なども協力いただいております。エコアート(高圧洗浄による巨大壁画)も2～3年に一度はリフレッシュが必要です。

今後も参加いただいた方々に楽しんでいただけるように、また吉母という地域への理解を深めていただけるように工夫していきたいと思っております。

石碑に向かって…



01 体験！！災害避難 in きくがわ

経緯

近年頻繁に繰り返される大雨、洪水。菊川断層帯の通る地域の特性。これらも相まって多くの住民にとっても身近で関心の高い防災について、令和5年度に引き続き、令和6年度はさらに一歩進める形で、町内の小中学校児童生徒・学校関係者・地域住民が地域ごとのグループに分かれ、防災マップ・しもまちアプリを活用しながら避難ルートの確認、避難所開設時のボランティア行動について学ぶ場としました。

活動内容

【開催日】

令和6年8月6日

【開催場所】

菊川ふれあい会館 小中ホール

【参加人数】

130人

【活動内容】

- ①しもまち防災アプリの説明
- ②防災士講話
- ③マイタイムラインの説明
- ④段ボールベッド、簡易トイレ、災害用テントの設営体験
- ⑤非常食の試食
- ⑥災害体験VR

座学、グループワーク、のみならず多くの体験内容を組み入れました。



段ボールベッド組み立て体験

成果

世代を超えて、広く学び交流する機会が持てて非常に好評でした。マイタイムラインについてはまだ知っている方も少なく、これから広く進めていく必要性を感じました。今回は洪水被害、土砂災害対策が主なテーマでしたが、今後は地震災害についても対応ができるような取り組みが必要になってくると思います。

非常食の
試食



グループワーク
防災マップ
の確認



【設置部会】・総務部会 ・生活安全部会 ・地域活性部会
・青少年育成部会

【活動の概要】・広報誌の発行 ・防災啓発事業 ・環境美化活動事業
・菊川町賑わい事業 ・地域体験教室 他



02 菊川ふれあい節分まつり

経緯

年度当初の計画にはなかった事業でしたが、今年度から公募委員で入ってこられた方が前年度にボランティア活動の一環でされた節分豆まきを継承発展させ、テーマは「地域の子もたちと節分行事を楽しむとともに行事の意味を学ぶ」で実施しました。

活動内容

【開催日】
令和7年2月2日

【開催場所】
菊川ふれあい会館 多目的ホール

【参加人数】
160人

【活動内容】
節分にまつわる劇、クイズ、ゲームも交えながら季節の行事を子どもから大人まで学んで、楽しめるものとなりました。



参加者記念撮影



かるがも劇団による創作劇

成果

幅広い世代の方が参加され、良い交流ができました。このような活動を通じて、伝統行事を学ぶ機会や住民が集まれる居場所づくりができればと考えています。

point

だれでも参加しやすい組織、多くの人が集まれるイベントになるように工夫していきたいです。



豆まき！



かるがも劇団
による劇

01 たまねぎの収穫体験

経緯

豊田地区まちづくりの5ヵ年計画の一環である農業の6次産業化の推進の取り組みとして、野菜の収穫体験をしてみてもいいかなという声が上がって試行的に実施することとなりました。

活動内容

【開催日】
令和6年5月26日(日)

【開催場所】
中野農園(豊田町荒木)

【参加人数】
20組 約50名

【活動内容】

まちづくり協議会の委員の中野農園さんにたまねぎを提供していただいて、行いました。1組2区画(1区画約20個)までで、参加者は20組約50名の参加がありました。

畑から実際にたまねぎを収穫する体験が初めての人が多く、大きなたまねぎと悪戦苦闘しながらも、笑顔いっぱいの収穫体験となりました。



たまねぎ収穫体験



たまねぎ収穫体験

成果

家族での参加が多く、子どもたちが青空の下で楽しそうにたくさんのたまねぎを収穫して喜んでいる様子が大変良かったです。

参加者が予想していたより少なかったのが残念でしたが、もっと広報活動を工夫して、たくさんの方に豊田の素晴らしい自然の中で、野菜の収穫体験をしてもらいたと思います。



たまねぎ収穫体験

【設置部会】 ・ネットワーク豊田町 ・ネットワーク殿居 ・ネットワーク豊田中
・ネットワーク三豊 ・ネットワーク西市 ・ネットワーク豊田下
各ネットワークにふれあい・ふるさと・すこやかグループ設置

【活動の概要】 ・広報紙の発行 ・グラウンドゴルフの開催 ・花いっぱい運動
・学習支援 ・農林業振興を図る事業 他



02 まち中花いっぱい フォトコンテスト

経緯

設立時より継続して取り組んでいる「花いっぱい運動の充実」への意識を高めるために令和4年から実施しています。



花いっぱいフォトコンテスト展示

活動内容

【開催日】
令和5年6月～10月
令和6年6月～10月

【開催場所】
町内一円

【活動内容】

豊田町内在住または、豊田町内への通勤・通学者を対象に、花との触れ合いを感じることが出来る家庭や地域の写真を募集。

道の駅蛸街道西ノ市に展示し、来客の皆さんに投票していただいて、最優秀賞、優秀賞、特別賞を選び表彰を行いました。



花いっぱいフォトコンテスト表彰

成果

フォトコンテストのチラシを全戸に配布するとともに、作品は道の駅に展示して、町民をはじめ、来客者に優秀な作品など投票してもらうことで、町内の花いっぱいの活動状況を見てもらえるように取り組んでいます。

一方作品の応募者が特定の人に限定されているので、多くの人に作品を応募してもらえるような手立てを考えるとともに、今後は花に限定せず、豊田の魅力を発信できるようなフォトコンテストを開催していきたいと思っています。



令和5年度
花いっぱいフォトコンテスト

01 ほうほく語り場(カタリバ)

経緯

構成員の方から、豊北町に住む“若手”のまちづくりや、豊北町の未来に関する意見を集約したいので、新たな会議体をつくりたいという提案があったことがきっかけです。

机について行う堅苦しい「会議」では、住民、特に若い世代の本音を引き出すことは難しいと考え、ざっくばらんに語り合える場をつくろうというコンセプトで計画しました。



交流セッション

活動内容

【開催日】

令和7年3月1日(土) 14時～17時

【開催場所】

滝部公民館(滝部活動拠点施設・太陽館)

【参加人数】

約25名

【活動内容】

下関市立大学特命教授による、豊北町の近代史を中心とした講義を聴き、参加者がそれぞれに体験したり、聞いたりしてきた「古き良き豊北町」について語り合いました。

また、ファシリテーターを豊北まちづくり協議会の担当者(40代・男性)が務め、話題を深掘りすることで、参加者が自由に発言しやすい雰囲気づくりに努めました。

成果

参加者は比較的高齢の方が多く、かつて活気があった豊北町への思い入れの強さを感じました。

また、過疎化・少子高齢化が進む故郷を憂うばかりではなく、語り継ぎ、共有することで、若い世代にも豊北町に対する愛着や、プライドを持ってもらうきっかけになるのではないかと、という手応えを得ることができました。そのため、今後はより若い世代が参加しやすいテーマや、仕組みを考えることが重要になってくると思います。

さらに、参加者とのセッションの中で「肥中街道」が今後、豊北町を盛り上げるコンテンツとなる可能性について話し合われました。新たなプロジェクトとして立ち上げることも検討したいと考えています。



下関市立大学特命教授による講義



豊北町の地図の前で思い出を語り合う参加者

【設置部会】 ・企画部会 ・活性化部会 ・安全・教育部会

【活動の概要】 ・広報活動 ・婚活イベント ・JR利用促進事業
・まちづくりクラブ ・起業家教育推進事業 他



02 浜出ウォーク

経緯

7年に1度行われる豊北町が誇る伝統行事・浜出祭。多くの方が見に来られるものの、その歴史を知る方や実際の道を歩いた方は少なく、令和7年4月6日に開催された浜出祭周知の目的も兼ねて、その半月ほど前の開催に決めました。

活動内容

【開催日】
令和7年3月20日(木)

【開催場所】
田耕神社～土井ヶ浜遺跡人類学ミュージアム

【参加人数】
30名

【活動内容】
7年に1度行われる浜出祭の開催に合わせて、実際に浜出祭で練り歩くコース約14kmをウォーキング。
講師に、歴史に詳しい地元の山田美和子さんをお招きして浜出祭の詳しい解説をしていただきながら、豊北町の美しい景色とおいしい食事を楽しんでいただきました。



ウォーキングの様子



田耕神社にて山田美和子先生による解説

成果

豊北町内外の歴史好き、ウォーキング好きの皆様にご参加いただき、浜出祭の歴史・豊北町の美しい景色・地元飲食店をPRできました。

一方で、参加申し込みへの返信メールがなかったことで、参加申し込みができていないと勘違いされた方が出たといった問題点がありました。今後は、事前に受付完了メールを送るといった対策を行ってまいります。

point

豊北地区まち協が掲げるスローガンは「帰ってきたくなるまちづくり」です。

ひとつは、豊北町で育った子どもたちに豊北町の魅力を感じてもらい、あたたかい思い出が心に沁みわたるような体験を地域全体でつくり上げたいと考えています。

ふたつめは観光客です。観光地としての知名度は高いのですが、実態は通過点のひとつでしかないのが現状です。観光客に体験などの再び味わいたくなる感動を提供し、ファンを増やすことが重要です。

上記2点に共通するキーワードは「関係人口」です。新しい知識やスキルを積極的に取り入れ、「物理的な人口を増やすだけがまちづくりではない」という、最先端の地方創生スタイルの実現を目指します。



イベント終盤のお菓子まき

《下関市まちづくり協議会活動事例集 令和5～6年度》

令和7年 月発行

下関市市民部まちづくり政策課

〒750-8521 下関市南部町1番1号

TEL.083-231-1261 FAX.083-231-1809

E-mail: skshimin@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

下関市のホームページ

<https://www.city.shimonoseki.lg.jp>



しもまちアプリ
↑ダウンロードはこちらから